

平成 28 年度 自己評価結果公表シート

第二すみれ幼稚園

1、本園の教育目標

子ども達一人一人が楽しみながら思考力を高め、創造力や判断力を培う事につとめ、絵画・音楽教育、基礎的な体力づくり等の充実した保育内容で「明るいすなおな子ども」に育っていくよう日々の保育に取り組む

本園の教育目標

- 1、 明るい豊かな心をもった子ども
- 2、 「ありがとう」とすなおな心をもった子ども
- 3、 どんなことにも負けない我慢強い子ども
- 4、 健康で心身ともに活動的な子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領が改訂された事を考え、また自己点検や自己評価を実施する事によって本園での教育課程の内容を確認し教職員が共通の理解をはかり、教育の質を高める事で教育内容の改善に取り組む事を重点とする。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教師としての資質や保育の質の向上 ・教職員間の共通理解を図る ・余裕を持った保育の取り組み	週一会議をすることにより、日々の保育や行事などの細かい確認が取れ準備も早くに進められたが、より詳しいクラスの状態までの共通理解は出来ていなかったように感じ、今後の課題です。
保護者との連携を図るための行事や保育の見直しをする。	なかなか保護者とゆっくりと話す機会のない中で、今年度は懇談会を増やしたり、参観の時期を変えてみました。すると保護者と少し話しをする機会も増え、時期ごとの子ども達の成長も例年より見て頂けたと思います。
草花や木々など、色々なものの違いを肌で感じる自然体験ができるように保育環境の見直しをする。	今までは園庭に何か咲いてると、興味を持つ子どものみ関りがあったが、学年で決めた物を育てたり、水やりをすることで、一人一人が気になり関りを持つ機会が増え、より色水あそびや泥あそびを楽しんでいました。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

週一会議で話し合う機会が増えたことにより、色々な共通認識が深まった部分やより深めないといけない部分が出て来たことで今後の課題として見えてきた所もある。今後、子どもにとって豊かな園生活がおくれる保育へつなげるために、職員一人一人が保育をしっかり見直し、考えていく必要性があります。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育者として子ども達の園生活における保育の質の向上を図る	昨年度から始めた週一会議を今年度も続け、それぞれのクラス状態をみんなで把握した上で、普段の保育から行事において、より見直しを持って質の向上を図る。
園の中の危険について、安全の再確認や点検の見直し	職員全員が、何があっても避難できる判断を持てるように、普段から安全に対する意識をより高め、環境の見直しに努める。
発達障害児への知識を増やし、特別ではなくそれぞれ子どもに合わせた豊かな保育が出来るよう見直す	その子をより理解出来るよう、知識を増やすための研修に参加したり、疑問や悩みを相談できる機会を作ることで、発達障害児を含む子ども達みんなの保育が豊かになるように努める。

6、学校関係者の評価

先生からお声掛け下さる事も多くあり、いつ、どの先生にお伺いしても子供や園の状態を把握されておられ、より子供の成長を気懸せ頂くことが出来る。学期、年度末以降の予定を早めに教入頂く事が出来れば就労されている保護者の方もより行事に参加しやすいのでは? と思う。職員、保護者の共通目的意識の理解と向上に努めて行ければと思います。

7、財務状況

経理における各種帳簿も正確に記帳されており適正に運営されています。